

化学療法計画書

ID					
氏名					
生年月日					
実施部署			発行日		
身長 (cm)	160	体重 (kg)	50	体表面積 (m ²)	1.50

指示医師:		
指導医師:		
投与開始予定日:	年	月 日
投与終了日:	年	月 日

病名	小細胞肺癌
治療法	ハイカムチン単独療法

	1
抗癌剤・商品名	ハイカムチン
規格	1.1mg
一般名	ノギテカン
一日投与量(規定)	1.0mg/m ²
患者情報から算出した一日投与量	1.5 mg
実際の投与量	1.5 mg
	1 mg/m ²
投与日	day1-5
1クール期間	21日間
予定クール数	
検査スケジュール	原則的に投与前に化学療法施行前セット検査データに応じて随時検査実施

適応基準	小細胞肺癌(2次治療以降)
推奨経口剤	○このレジメンは軽度催吐性リスク群です。推奨される経口制吐剤はありません。
禁忌	1.重篤な骨髄抑制のある患者 2.重篤な感染症を合併している患者 3.妊婦又は妊娠している可能性のある患者 4.授乳中の患者 5.本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
中止基準	投与前の好中球数: 1500/mm ³ 未満、血小板数: 75,000/mm ³ 未満 骨髄機能が回復するまでは投与延期 (CTCAE Ver4.0におけるgrade2の血液毒性に準拠)
副作用	<p>●ハイカムチン</p> <p>重大 1.骨髄抑制 2.消化管出血 3.間質性肺炎 4.肺塞栓症、深部静脈血栓症</p> <p>その他 (20%以上)悪心・嘔吐、食欲不振、脱毛、発熱、易疲労感、ナトリウム減少、総蛋白減少、アルブミン減少 (5~20%未満)口内炎、下痢、便秘、ALT(GPT)上昇、AST(GOT)上昇、BUN上昇、尿糖、尿蛋白、尿沈渣、体重減少、状態悪化、頭痛、倦怠感、LDH上昇、カリウム増加、クロール減少、カルシウム減少、カリウム減少、クレアチニン上昇 (5%未満)腹痛、胃炎、イレウス、総ビリルビン上昇、Al-P上昇、肝機能障害、尿ウロビリノーゲン、血尿、排尿異常、腎機能障害、爪の障害、発疹、そう痒症、蕁麻疹、疼痛、注射部位反応、浮腫、悪寒、味覚異常、めまい、末梢性ニューロパチー、耳鳴、感覚鈍麻、不安、傾眠、頻脈、不整脈、低血圧、LDH下降、ナトリウム増加、クロール増加、静脈炎、感染症、胸痛、口腔咽頭痛、咳嗽、呼吸困難、脱水、鼻出血、咽頭炎</p>
備考	

ハイカムチン単独療法 観察記録

所要時間:1時間半

氏名: ID() 年齢: (才)

施行日	クール	回目	施行前内服薬()	入外()
医師	指示医師: ハイカムチン (mg) 一般名(ノギテカン)		抗癌剤用量 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由	抗がん剤以外の薬剤の変更・追加
	<input type="checkbox"/> 投与決定 <input type="checkbox"/> 未決定 <input type="checkbox"/> 延期・中止			投与開始時間 調剤 実施
投与指示	本体	側管		
	生食250mL		1時間30分かけて点滴【167mL/h】	
	生食100mL +ラモセトロン1A +デカドロン 2 A		30分かけて点滴【200mL/h】	
	生食100mL+ハイカムチン		30分かけて点滴【 200 mL/h】	
本体終了後抜去				